



横浜市立城郷小学校
明治33年6月創立

学校だより

めざす子ども像

令和4年8月29日

9月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

しょうどう

校長 三瓶 淳

「冷凍庫が、壊れてしまったよ。」と田舎の母から連絡がありました。物がたくさん詰まっているため冷凍庫が開かなくなっていたことは知っていましたが、壊れたという意味や状況が電話だけでは確認することができません。また、父の介護をしているため、自由に行動することはできません。もし、壊れていたら冷蔵庫を買いに行ったり、台所から搬出・搬入するための通路を確保したりしなければなりません。その週末に急遽帰省しました。1日がかりの大仕事になる感じですが、父がデイサービスを利用している時間内が勝負です。父がデイサービスに出かける時には福島に着き、実家に到着するや否や冷蔵庫を確認しました。すると、冷凍庫はすんなりと引き出すことができ、中の物はすっかりなくなっていました。手を入れてみるとなんと冷えています！その後、いろいろ確認をしていくと、ケアマネさんが冷凍庫内を掃除していく中で、氷の塊となっていたものをハンマーでたたいた時に、プラスチックのトレーも壊してしまったようです。「冷凍庫内のトレーまで、壊れてしまった」というケアマネさんの報告が、「冷凍庫が、壊れた」となったようです。私は母と昼食を済ませてすぐに帰りましたが、「冷蔵庫を買わなくてすんだよ。」と母は大喜びでした(笑)

さて、夏休み中に「**衝動**」という言葉に出会いました。**衝動**とは、「外から強い力や刺激を受けて心を動かすこと」です。人は、いろいろな価値感をもっていて、そこを刺激されると心が動き、行動を起こすことができます。「衝動買い」や「衝動的に叫んでしまう」とか言われますね。今までの考え方を考えるぐらい強い**衝動**を受けた時、生き方までを変えてしまうこともあります。ベンチャー企業を立ち上げている方々は、**衝動**をエネルギーにし、それまでなかったことに取り組み、起業するまでに至っている1つの例だと思います。誰にでもそのチャンスはあると思いますが、大切なのは環境です。誰もやっていないことに取り組むわけですから、失敗は付きものです。失敗しても応援してくれる、失敗しても繰り返しやってよい環境が大切です。その意味でも、学校は「生命に関わること以外の失敗を、安心してできる場所」であることを再認識する必要があります。

39日間の夏休みを過ごしてきた子どもたちが学校に戻ってきます。課題にした「毎日こつこつ自分チャレンジ」の結果も楽しみです。子どもたちが、どんな事にチャレンジして、そこで何を感じたか、それを今後どう生かそうとしたか、しっかりと分析して、返していきたいと思います。

【新しい教職員の紹介：夏季休業中に教職員等の異動がありましたのでお知らせします】

- ・2年3組担任の井野 由里教諭が産休に入ったため、三村 良平教諭が担任に着任しました。
- ・個別支援学級の二本柳 聡美教諭が産休に入ったため、馬場 桂教諭が担任に着任しました。
- ・学校用務員の石川 賢人吏員がお休みに入ったため、大金 英昌吏員が着任しました。
- ・ICT 支援員の高橋 里智子さんが退職となったため、瀬在 紀子さんが着任しました。